

「虹の森」通信

8月号　第118号

発行日　：２０２６年　７月２７日
発　行　：**虹技株式会社**
安全環境管理部 環境管理G
姫路市大津区勘兵衛町４丁目１
☎　０７９―２３６－３２５７

爆発かと思うような暑さがいきなり来ましたね。　梅雨が明けるまでは結構涼しかったので油断していました。　暑さへの順応準備が出来ていない身体にこの暑さはこたえます。　皆さんも本当に気を付けてくださいね。　　タイトルバックは、暗闇の中で羽化しているアブラゼミです。　成虫の羽は不透明な褐色で重厚感がありますが、羽化した直後はこのように乳白色の半透明できれいです。



今回はちょっと珍しいシリーズをご紹介。　尻尾の先っちょに団扇状の丸いひれがあるウチワヤンマです。　飛行機の垂直尾翼のような役割なのでしょうか。　名前にヤンマとついていますが、両目は離れているのでサナエトンボの仲間です。



こちらも珍しい昆虫です。　１センチほどの小さなセマダラコガネですが、これはちょうど雨粒が構造色を綺麗な緑色にさせています。　まるで、色のついた水玉を載せているみたいでしょ。　名前のとおり背がまだら模様ですが、どこでこんなきれいに発色するのでしょうね。　不思議です。



こちらは、どう見ても小枝にしか見えないエダナナフシです。　体は茶色で足がきれいなグリーン。まさに自然の色をまとい、風に揺れている枝を模して不思議な動きをします。　ナナフシよりも触角は細長く、小枝にしか見えません。　羽はない為、歩行で移動しますが、擬態が完璧なので敵に存在を悟られることなく、飛んで逃げる必要もない。　自然観察の際にもし小枝が歩き始めたら、このエダナナフシの可能性大ですよ。



この渋い花はコクランです。　漢字では「黒蘭」。低山の落葉広葉樹の森でひそかに咲く、野生の蘭です。　花の大きさは１センチ程度、蝶ネクタイのようにユニークな形が特徴ですが、渋い紫褐色なので、何しろ地味。　派手さがないので観賞用としては今一つですが、野生蘭の愛好家にはマニアックな人気があり、乱獲されたこともあるそうです。　もし見つけても、採らないでくださいね。　誇り高い花をその場で愛でてください。

環境爺（じじい）のつぶやきコラム



悲しい。　大ファンだった山田五郎さんが亡くなってしもうた。　以前、ここでも紹介したYouTube「山田五郎オトナの教養講座」は彼の博識ぶりとウイットに富んだ軽妙なトークで、毎回ニタニタ見ながらも、きちんと知識を得ることが出来るワシにとって唯一無二の優れたチャンネルじゃった。　もう新作が見れないとは残念で仕方ないが、３７０本以上の動画がアーカイブでいつでも見れるし、チャンネル登録者は８８万人を超える人気じゃ。　訃報を知らせた彼のマネージャーは、登録者１００万人を達成して金の盾を山田氏の墓石に捧げたいと言うておるので、興味のある方はどうぞ。　むろん、そこのコンテンツの面白さはワシが保証するぞ。



さて、今回はこの激しい暑さの夏を、快適かつエコで環境にやさしく過ごすためのポイントを伝授しよう。　まずは、ルームエアコンの運転方法から。

皆は外出から戻った際、部屋のあまりの暑さに、設定温度を下げたり上げたり、またスイッチを入れたり切ったりしとらんかな。　こまめにスイッチを切るのが省エネで節約できていると勘違いされることが多いが、ことエアコンはそうではない。　エアコンにおいては起動から３０分くらいが一番電力を喰う。　それは、室内を循環する空気が設定温度になるまでのいわばスタートダッシュ状態じゃ。　そして、室内が設定温度になると、電力消費量は低位安定するのじゃ。　最近の戸建てやマンションは部屋の機密性が高く、断熱性能も優秀で一旦冷えると、そんなに外気の影響は受けん。　涼しくなったからと言って、スイッチを切ったり入れたり、また設定温度を上げたり下げたりすると、そのたびに室外コンプレッサーがフルパワーになり電力消費量が跳ね上がる。　そうなると室内温度が安定せず、電力消費量も倍半分くらいに使いすぎてしまいエコじゃないし、ふところにも厳しい。



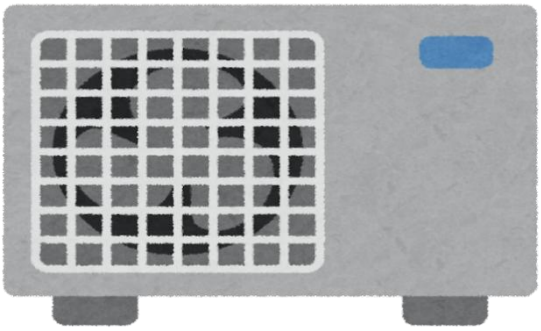
一番良い運転の仕方は、まず最初は少し温度を低めに設定して、風量は自動にする。　３０分ほどして室内温度が安定したら、少しずつ設定温度を上げながら良いあんばいを探す。　その後は、設定温度もさわらず、電源の入り切りもしない。　ちょっと買い物に行くとか、小一時間家を留守にするくらいでスイッチは切らない方が断然良い。　その方が電力消費が少なくて済むからじゃ。　できれば日光が入る窓は遮光カーテンで閉めるのがベスト。　あるいは雨戸を閉めるというのも節約効果絶大じゃ。
室内は暗くなるが、今どきのＬＥＤ照明は電気を喰わないので心配無用。



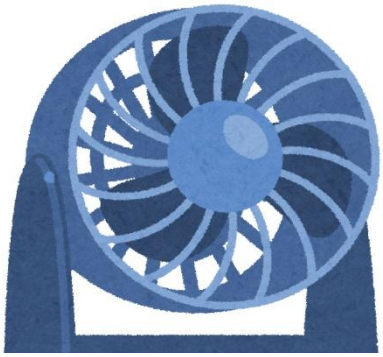
そして、何より大事なこと、それはエアコンフィルターの掃除をこまめにしなけりゃいかん。　自動掃除機能があるエアコンもあるが、ちゃんと掃除できているか、掃除したホコリが溜まっていないかのチェックは必要じゃ。　フィルターのつまりはものすごく冷房効率を低下させて消費電力を増やすもと、内部のカビ発生の原因にもなる。　フィルターがいつもきれいならカビも発生しないのじゃ。

そして、もう一つ重要なことは室外機の設置状況じゃ。　室外機は陽の当たらない風通しの良い場所

に設置されておるかな？　南側の陽の当たる場所や西日の差す位置に設置されておる場合は、屋根やひさしを作り直射日光が当たらないよう工夫をする。　それだけで、冷房効率はぐっと上がる。　室外機周辺に遮る物があっては風通しが悪くなるので不要なものを置かない。　これもまた劇的に冷房効率が上がる。



そして室内で活用したいのが小型サーキュレーターじゃ。最近のは音も静かで性能も良く、お値段も手ごろときたもんじゃ。　しかも扇風機よりもずいぶん使い勝手が良く、エアコンの冷風を効率よく室内循環させたり、優しい風で身体をクールダウンさせたりするのにちょうど良い。　おまけに冬場の暖房効率ＵＰにも活躍する万能家電じゃ。　ここは、ちょっと重要ポイントになる。　ホームセンター等で良いのが売られておるので検討すべきじゃぞ。



ここまで、室内環境について説明したが、次はエコで環境に優しい生活習慣についても説明しよう。できることならエアコンの効いた雨戸を締め切った部屋でじっとしているのがベストなのじゃが、そうもいかんじゃろう。　まず、外出時に日傘は必需品じゃ。　ご婦人方だけでなく、男性も大型の日傘で日よけをするべきじゃ。　こういう暑さ対策はいろんな意味でエコで環境に優しい。

そして、究極にエコで環境に優しい生活とは、車を使わんことじゃ。　これは夏場に限らんが、自動車というのは人や物を移動させる機械じゃ。　本来、物を移動させる為に必要なエネルギーと、自動車の製造から廃棄、また道路の整備にかかるエネルギー＋消費ガソリンエネルギーの比、つまりエネルギー変換効率はどれくらいだと思うかの？　ヒントとしてＬＥＤ照明は３０～５０％、蛍光灯は２０％、白熱電球は１０％と言われておる。　さらには、電車は３０％、ディーゼル機関車は２０％、蒸気機関車は５％とする資料もある。



さて、自動車の効率は想像できたかな。　それでは正解じゃ。　なんと、自動車のエネルギー変換効率は０.６％なんじゃと。　何とも効率が悪すぎる。道路の整備には相当なエネルギーを使う上、製造から廃棄までの期間が他と比べて短いことも起因するのじゃろう。　エコカーと呼ばれる車が従来車の倍の効率だとしても、ごまめの歯ぎしりじゃ。　なので、お出かけは公共交通機関でと言うのがもっともエコで環境に優しいのじゃ。　幸い、日本は列車もバスもしっかり冷房が効いて快適なのじゃから、行先は水遊びができる所か、涼しいお山の上がベストじゃろう。　ぜひ参考にして、エコで環境に優しい夏を過ごしておくれ。



先日、老人大学の１学期も終わり、暑気払いにクラスのみんなで昼間から居酒屋でパーティじゃ。女子も大勢集まって大盛り上がりじゃった。　なかなかお開きにならず、４時間以上飲みっぱなしじゃ。　いくつになってもコンパは楽しいのぅ。ちと飲み過ぎたがの。

ぶつぶつ

虹の森なう

ついに虹の森ウッドデッキが完成いたしました～！！　最初に作ったウッドデッキの風化が進んで、取り壊した後、新しいデッキ作りに取り掛かったのが２０２１年の７月。　ここまでちょうど５年かかりました。　材料の伐採から運搬・皮むき・組立てと、全て現地調達の手作業です。　よくやったなぁとつくづく…　最初に作ったデッキは高さもあって気持ち良かったのですが、少し狭かったせいであまり活用していませんでした。　でも新デッキは広さに加え、虹の森全体が見下ろせるロケーションが売りです。　一般の散策登山者にも利用していただきたく、注意書きも取り付けました。



下からのアングルがこちら。　炭焼きガマの石積みからデッキがドーンと張り出してます。　真ん中手前に飛び出た梁にはブランコを取り付けました。

上からはこんな感じ。　そんなに広く見えませんが、虹の森の眺望は抜群です。　今は葉っぱが覆い茂り、明るくはないですが、それがちょうど木陰となって風通しも良好です。



冬になって、落葉すると虹の森の眺めも様変わりします。　今は薄暗い森も、日の差し込む明るい森となり、吹き抜ける風はさわやかです。　また、早春の新緑の季節には森全体が黄緑色に輝き、生命の息吹と躍動感を感じることができます。



今回の作業は暑さが厳しいことを覚悟していたので、最初は川の暗渠（あんきょ）掃除や涼しい作業から始めました。　６月に来た台風でU字溝が詰まってしまい、水があふれ返っていたのです。

詰まりを取り除いていると、ちびっ子たちが川でカニを見つけて大喜び。　やさしいお兄ちゃんが弟にカニを手渡してあげてます。



デッキの仕上げ作業にかかっている時には、落ち葉の中から巨大ミミズを発見して、これまた大はしゃぎ。　そりゃ、街中ではこんな巨大なミミズは見ないよね。　子供たちのテンションを見ていると、この活動にちょっと誇りと喜びを感じたりした瞬間でした。



それでも、暑さにはホント参りましたね。　昼からの作業はもう皆ヘロヘロで、早めに作業を終えて、温泉に突撃。　疲れたけど幸せな一日でした。　次の活動は９月です。　よろしくお願いしま～す。